

## 研修レポート2

# 生薬及び小水力発電を研修して

報告者 松岡清悦(生薬(研修1日目及び2日目)報告担当)  
柴田正高(小水力(研修3日目)報告担当)

### ●研修1日目(8月26日)

東京都小平市にある「東京都薬用植物園」を視察。

当施設は、東京都の施設であるが東京生薬協会が管理を受託している。昭和21年に戦後の薬不足から薬用植物の栽培をしたのが始まりだそう  
で、現在では1万坪の面積に1,700〜1,800種の薬用植物が試験栽培されているという。

私たちは、(株)龍角散特任顧問の加賀氏(八峰町出身)に同行していただき、同園統括責任者の北川氏から説明を受け、私たちの身の回りの植



説明を受けてから植物園を案内していただきました

物の多くが薬用であったり、食用であったり、有毒であることを知った。

この中からこの度、当町が来年度から試験栽培しようとしているキキョウ、セネガ、ウイキョウ、カミツレを中心  
に寒冷地用の生薬を何種類か見せてもらい説明していただいた。

### ●研修2日目(8月27日)

群馬県前橋市にある「(株)金井藤吉商店 前橋工場」を視察。

当日現地の気温はなんと36度の炎天下。この日も(株)龍角散特任顧問の加賀氏に同行していただいた。

同工場では、栽培された生薬原料を仕入れ、加工し、各製薬メーカーに販売することを主事業としている。

(金井社長から説明を受けて)

・薬メーカーが必要とする物を農家等から生の原料を買い取り(自社の契約栽培もあり)

「小水力発電のまち」都留市を全国に発信している山梨県都留市を視察した。それをレポートする。

都留市は山梨県の東部に位置し、周りは、大月市、富士河口湖町、西桂町、富士吉田市、道志村、上野原市と接し、周りを1000m級の山々に囲まれた街で、面積は161.58km<sup>2</sup>、人口約3万2千人の旧城下町である。かつてここを治めていた秋元氏が寛永13年(1633年)より同16年までの31年の歳月をかけて近くを流れる桂川から削し、城内に引き込んだ家中川が今、街の中を夏の渇水期にも関わらずものすごい水量



山梨県都留市



説明を受けております

加工している。

・入庫前のチェック(良い製品を作るに大切な工程)をし、一次加工(乾燥、調整、修治(\*))等) ↓品質確認試験(合格して初めて生薬になる) ↓二次加工(刻み、微粉末、包装、表示) ↓原料の保管、と細かい段階作業がある。

・生薬を製造・市場に出荷するには「医薬品製造業許可」「医薬品製造販売許可」の取得及び薬剤師の確保が必要である。

・メーカーの信頼性の確保のため、トレーサビリティを実施している。流通・在庫の管

と勢いで流れている。その川へ市で平成16年度に市制50周年記念事業として、また、水のまち都留市のシンボルとして市役所前にドイツ、ハイドロワット社製の木製水車を設置し発電を開始、以後2号機、3号機とそれぞれ形状や出力の異なる水車が設置され稼働している。3機の合計発電量は最大で46.3kW、この電力で庁舎の電力のすべてを賄

っていて、そして庁舎が使用されない夜間や休日には売電し、その収入が昨年度で300万円程度だそう。3号機の稼働が今年の3月2日からなので1、2号機でこの収入額との説明であった。今年度は3号機分と再生可能エネルギーの固定価格買い取り制度が7月から開発されたので売電収入はもっと伸びるのでと期待しているそう。工費は1号機が約4800万円、2号機が約4800万円、3号機が約4800万円、市民公募債(1500万円)、市民公募債3分の1(1700万円)、

理の大切さ、工場及び保管倉庫の必要性を感じた。

(金井社長の要望)

現在、「農家(栽培) ↓ 仲買人(選別・刻み) ↓ 生薬供給業者 ↓ 漢方薬メーカー」であるものを流通の形態を変え、前の3つを八峰町で行いたい。

そのため、八峰町で次のことをお願いしたい。

- ・一次加工(乾燥、調整、修治等)及び品質確認試験を行う施設、人員の確保。
- ・二次加工(刻み、微粉末、エキス、包装、表示)を行う施設、人員の確保。
- ・原料を保管するための倉庫の確保。

・上記、機能を満たすため医療品製造販売業、医療品製造業許可取得。薬剤師の確保。

私はこの要望を聞いて、町としてどこまでやるのか、出来るのか。

今後、試作をしながら数年



金井藤吉商店前で記念撮影

### ●研修3日目(8月28日)

東日本大震災以降、安全でクリーンなエネルギーが注目されている。小河川や農業用水などを利用した小水力発電は、我が町でも取り組みやすい発電方式ではこの思いで、

# 平成23年度決算特別委員会付帯意見

平成23年一般会計及び10の特別会計の歳入歳出決算特別委員会では、議員から様々な意見や要望が提案され、9月21日議会終了後、町長に付帯意見を提出しました。

その付帯意見をご紹介します。

なお、付帯意見に対する町からの回答については、次号の議会だよりに掲載いたします。

● **スポーツ少年団のあり方について**  
 スポーツ少年団については、現在の保護者主体の運営に移行して、もう数年を経過したが、再検討すべきではない。

● **ふるさと雇用対策事業について**  
 この事業では雇用を創るために企業等に助成したものであるが、実際、申請されたところ雇用が継続され、交

● **「んめものまつり」の町内出店について**

策の強化を図ること。

● **旧役場跡地の有効活用について**  
 本件については、平成23年度当初予算に關する付帯意見として挙げたところ、民間企業にも働きかけていくと回答がなされているが、建物の解体後は更地となったままである。今後の方向性を示されたい。

● **岩館海浜プールの復旧・改善について**  
 町の夏の観光は岩館・八森の海水浴であるが、今年春の高波被害で破損した岩館海浜プールの復旧・改善を図ること。

● **農林水産物処理加工施設の指定管理について**  
 現在の指定管理者については町から指定管理料を払うと共に、設備等の整備充実にも町が相当の負担をしているが、会社として自立の姿勢が見えないことから、今後の経営見通しを示すこと。

● **猿害対策の強化について**  
 サルによる農作物等の被害は、町の銃による捕殺や檻、電柵、花火、網等の対策が効果を発揮しているものの、出没の範囲が拡大傾向にある。

● **分担金・国保税等の不納欠損について**  
 平成23年度決算では下水道等の受益者分担金や国保税等の不納欠損額が多額に及んでいることから、適切な収納対策を講ずること。

● **子ども園の時間外受入れについて**  
 町外の保育園に入所する幼児にかかる委託料が年々増大している。これは町の子どもの時間外保育の受け入れ体制に問題があると思うことから、再検討すべきである。

● **プレミアム付き商品券について**  
 プレミアム部分を20%から10%としたり、世帯当たりの限度額を上げたりといったことがあったようだが、もっと有効利用される工夫を町でも指導すること。

● **ぶなっこランドのあり方について**  
 ポンポコ山の道で開催している「んめものまつり」は大変好評であるが、地元の出店が少ないことから業者や団体への働きかけに努めること。

視察の結果、我が町でも都留市のような河川の落差を利用し、大型の水車を設置した小水力発電が実現可能かとなるとかなり無理である。まず庁舎や学校、文化施設の近くに年間を通して一定量の水量が確保できる河川がないことが一番の問題である。それならば堰や田んぼの用排水路に発電機に水車やスクリーンのついた小型のものを設置する方が実現性が高いかもしれない。しかし、ここにも問題が



小水力発電について勉強してきました

あり、農業用水路は田んぼが水を必要とする期間（4〜8月）だけしか水が流れていないところがほとんどである。現在小水力発電を導入するには様々な規制をクリアする

必要がある。まず過去10年分の用水の水量データを提出した上で、発電機の設定後1年間、逐次水量をモニターし、発電機の設置が水量に影響を与えないと証明しなければならぬ。水量測定のコストは大きな出費となる。また、売電を指すのであれば電力会社の求める基準に合わせた変電施設も必要となる。

今後国の規制緩和がもつともっと進めば、誰でも発電機を設置して簡単に電気を作ることが出来る時代が来るかもしれない。そう願っている。



研修参加者

- 門脇直樹
- 見上政子
- 腰山良悦
- 山本優人
- 佐藤克實
- 須藤正人
- 松岡清悦
- 柴田正高

## 7月27日開催された第2回臨時会ではこのようなことが決まりました

### 補正予算

●平成24年度八峰町一般会計補正予算（第4号）  
 3億1,766万8千円を追加補正  
 主な歳出…八森地区統合子ども園設計業務及び造成工事实設計業務委託料、道路維持費、林道施設災害復旧費、公共土木施設災害復旧費  
 \*「全員賛成」で可決しました。

●平成24年度八峰町営簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）  
 100万6千円を追加補正  
 主な歳出…観海地区配水管特別工事をJRに委託するため予算を組替するもの（今年度の単価構成とJRの工事委託費の差額100万6千円）  
 \*「全員賛成」で可決しました。